“人類が特別で宇宙ロケットを作り出すま
でに至ったのは、大きな脳を持っているか
らではなく、一万にも及ぶ個人が協力して
知を生み出すことができたからだ”

(人類学者 キム・ヒル)

ヒトは「学ぶ動物」

なんや、これえ？

- 「学ぶ」は本能（潜在能力は生まれつき備わっている）
- 本質は Trial & Error（課題：Errorの受け止め）

ヒトの学びのスタイル

個別学習

(ゾウリムシ)

探究系学び
ここに個性
(好き*得意)
が出やすい!

憧れ系学び
色んなものを
見せるといいかも

模倣学習

(サル)

教育学習

(ヒト)

教科系学び
教える人&学ぶ人
が知恵・文化を世
代を超えて共有

- ・ バランスが大切 / この3つをグルグル回す
- ・ 幅広い経験をする → 「好き × 得意」にトコトン!
(例: 虫、紙飛行機 etc.) ⇒ 環境構成が最重要

タクシードライバー

随分と昔のある夜、友人との飲み会を終えた私は、ご機嫌でタクシーに乗り込みました。

- ・ 故野村監督と同郷（京都の田舎）のご老人
- ・ 中卒で大阪に丁稚奉公

科学が教える、
**子育て
成功への道**

強いココロと柔らかいアタマを持つ「超」一流の子を育てる

キャシー・ハーシュ＝バセック

Kathy Hirsh-Pasek

ロバータ・ミシュニック・ゴリンコフ

Roberta Michnick Golinkoff

【訳】

今井むつみ

慶応義塾大学薬学研究所准教授

市川力

慶応義塾小学校立学

扶桑社

なぜヒトは学ぶのか

教育を生物学的に考える

安藤寿康

講談社現代新書

2492

マット・リドレー 中村桂子・斉藤隆央=訳

**やわらかな
遺伝子**

Nature Via Nurture
Genes, Experience and What Makes Us Human
Matt Ridley

早川書房

子育て成功への道 www.kids-island.biz/sakaitani/2018/05/28/books-14/

6C：学びのカギ (教科を通して以下を学ぶ)

Confidence
(自信)

Communication
(コミュ)

Collaboration
(協働)

Contents
(内容)

Creative Innovation
(創造性)

Critical thinking
(批判思考)

- ・ 過保護は自信をうばう。人の役に立つ効用感。
- ・ コラボやコミュ力はペーパーテストでは養えない。
- ・ 少数派になる勇気なくして創造性はない
- ・ ContentsにはMI理論では8種類の知がある…

「Contents」伝達が、子どもの学びたいとフィットしているか？
→ 「発達段階や興味・関心」に応じた、幅広い学びの時代へ

まとめ：学びについて

- ・ 「幅広く経験」 + 「好き × 得意はトコトン」

～学びの本能を解放すべしっ！「失敗のない学び、それ失敗」

- ・ 求められる資質は変わった（創造、協働…）

～世界の学びは急激にシフト→「個別／教科／探求」を回して6Cゲット！

- ・ 学び続ける人が勝つ（幸せ、自分らしさ、成功…を定義づける）

PS：3S（睡眠、食事、しゃべり）は常に大切